

岡崎市美術博物館 コンセプト及び収集方針

【コンセプト】

当館は平成8年（1996年）に「マインドスケープ・ミュージアム（心を語るミュージアム）」をテーマに開館しました。「マインドスケープ」とは人間の心がかたちや営みとなって現われるものを指す造語です。当館は心の世界から美術や歴史、文化を見直すことを目指します。

【収集方針】

岡崎市美術博物館では、下記の収集方針に基づいて資料の収集活動を行います。

1. 「心」を伝え、「心」を語る作品及び資料
2. 岡崎市に関連する美術・歴史・考古・民俗資料
3. 当館の収蔵品として相応しい美術・歴史・考古・民俗資料及び、教育普及のために必要と認められる作品及び資料

【資料収集の指針】

- a. 市民の心を豊かにし、未来に資する作品及び資料
- b. 岡崎市を中心とする地域の文化・芸術・歴史を明らかにする作品及び資料
- c. 岡崎市にゆかりがあり、広く功績を残した芸術家及び、ゆかりのある人物の作品及び資料
- d. 収蔵している資料に関する芸術運動、歴史事象の上で基準となる作品及び資料
- e. その他、当館が収蔵するに相応しいと認められる作品及び資料